



国民の森林・国有林

広報

か な ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 190

2006.7.27

屏風山に関する 森林環境教育を実施

7月18日(火) 屏風山森林環境教育CDの上映会と見学会を、今回は、つがる市立車力中学校において行いました。対象者は1年生55名です。午前中の上映会を開始するに当たって、支署長から「この機会に、屏風山の歴史や大切さを知り、語り継いでいってください。」と挨拶のあと、スクリーンには上空から見た現在の屏風山一帯が映し出されました。今は、当たり前のようにクロマツやカシワなどが生い茂った屏風山ですが、若い世代の人々は、荒涼な砂山に木を植え、すさまじい西風から人々の生活を守ろうとした先人達がいたことも、はるか江戸時代から植林と大飢饉による荒廃の歴史が続いてきたことも、ほとんど知りません。薄暗い中で長時間いすに座って聞くのは、酷だなあと思いましたが、目をこすりながらでも興味を持って聞いてくれたのは正直驚きました。

午後は、現地見学ですが、最初は植林に生涯をかけた野呂武左衛門さんの木像と西郷隆盛の弟の従道から贈られた賞状が奉ってある洪福寺へ行きました。住職からは、天明の大飢饉では、人々は木の葉っぱやクロマツの皮を剥いで薄皮を細かく砕いて粉にしたものを水でこねて団子にして食べた、植林されたクロマツはほとんどが無くなってしまったが、数万人が命をつなぐことが出来たという話を伺いました。

埋没林では実際に埋まっている木を触ってみたり、高山稲荷の展望台からはカシワ林の中に筋状に植林されたクロマツを実際に見、治山の工事現場では、出来上がったばかりの緩傾斜提や間伐材の防風柵を見たり、ゴミの不法投棄の状況を見たりと時間一杯屏風山を見学しました。今回一番の収穫は、生徒全員が感想文を寄せてくれたこと、その中に故郷である屏風山に対し、様々な角度から興味を持ってくれたことが書かれていたことでした。今後も、引き続き行っていく必要を感じました。(森林ふれあい係)

お二人の感想文を紹介します。

この前の、自主見学で今ぼく達が不自由なく暮らしているのは、先人達のおかげだということがわかりました。なぜなら、家では農業をやっているけど、それもすべて順調にできるのは防風林のおかげだからです。

その森林が失われていることは、大変残念に思っています。だから、ぼくもゴミを捨てないようにしたり、積極的に協力しようと思っています。すごく勉強になりました。ありがとうございました。

たくさんの方が学べました。1つは、森林はとても大切だということです。その中でも、特に、黒松などが大切だと知りました。黒松があるからこそ、田んぼ、畑などが守れるんだ。先人の人達のおかげで、今も農業ができるんだ！！と、とても感心しました。

その他、洪福寺の木像など貴重な物が見れてとてもうれしい気持ちです。一番心に残っているのは海岸に植えてあった何百本もの木々を見たことです。あんなにたくさんの木を植えるなんて、私にはできないなと思いました。

山火事の災難にうなだれたことともあったかもしれないけど、こうして努力して植えた皆さんは、すごくえらいと思います。教えて下さった2人の人達もとても感心します。この授業をして私も自然を大切に、ボランティアなどに積極的に参加したいと思います。本当にいい思い出になりました。



初めて知る昔の史実に驚嘆する生徒たち(右手前・岡崎支署長)

【平成18年度安全大会】

実技は真剣だよ！でもなんかチョット・・・

7月1日からの安全週間は、一連の行事を実施して終わりました。この行事の中でもメインとなるのが安全大会です。大会は支署長の挨拶にはじまり、局長メッセージ、安全標語入選作品の発表及び表彰、交通安全講話、救急法講習、最後に安全宣言となります。これら実施された内容についてかいつまんで紹介します。

安全標語入選作品

最優秀

・安全は一人一人が責任者 守るあなたも守られる

今 優子

入選

・いつもの現場の手慣れた作業

ヒヤリハットは毎日違うぞ しっかりやろう危険予知

葛西 伸彦

・健康管理と仲間の和 今日も明るく 楽しい職場

山口 善三

・急ぐな！焦るな！作業手順 いつも心は危険予知

野宮 正一

・油断不注意 事故の元 基本にかえって安全作業

村元 光治



金木警察署による交通安全講話



イチ ニー サン・・・心臓マッサージ

五所川原・金木消防署担当者による救命手当の指導では、救急車が来るまでの短い時間に行われる応急手当が生死に重要に関わってきます。日頃から実技をマスターして、呼吸停止や心肺停止などの状態になった方がいる時は早い連絡、早い応急手当をしてほしい、旨の話がありました。

二組に分かれての実技では、人前であり照れもあったようですが、全員が真剣な表情で心肺蘇生法を練習しました。

「後悔先に立たず」などの教訓となる交通事故事例のビデオ鑑賞の後、「自分だけは大丈夫」「少し飲んだだけで酔っていないから」というちょっとした心の油断から事故が発生し尊い生命が犠牲になっている、交通マナーは絶対に守ろう等の講話がありました。



安全宣言は喜良市・齊藤森林官

私たちは本日の安全大会を契機に、人命尊重を基本理念とし過去の災害を反省するとともに、平成8年4月4日からの労働災害ゼロをさらに継続するために「守るべきことは必ず守る」「やってならないことは絶対にやらない」という作業規律の確立を図り、健康で明るい職場づくりに努めることを宣言します。



標語入選者表彰 野宮さん

◆ 7月の公売結果 ◆

素 材

(7月6日青森市・青森木材センター)

経常：ヒバ丸太36口、約65³を出材し、落札は22口、61%。

山元：ヒバ丸太14口、約178³を出材し、落札は6口、43%。

(7月20日青森市・青森木材センター)

経常：ヒバ丸太41口、約58³を出材し、落札は32口、78%。

山元：ヒバ丸太57口、約603³を出材し、落札は36口、63%。

以上の結果となっています。

立 木(署入札場)

スギ外皆伐(分収育林)2箇所を1口として約1,860³、スギ外間伐11箇所を4口として約1,000³出材しました。皆伐は応札が2枚で落札となっています。間伐は応札あった1口が落札しましたが、3口は応札なしの結果となっています。